

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《美術》

※詳細については、資料Ⅱ(美術-4～美術-10)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	美術2・3 探求と継承
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能を例示した『学びの資料』が巻末に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各題材に『思考力・判断力・表現力に関する目標』が示され、発想や構想の視点として『学習のポイント』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、美術の学習の意味や目的を取り上げた、『絵や彫刻で学ぶこと』『デザインや工芸で学ぶこと』が掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「豊かな心」について、使う相手や受け取る相手などの目的に応じてつくるデザインの題材や、安心・安全・便利について発想や構想をし、制作する題材が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]について、東日本大震災に見舞われた東北地方の魅力を世界に発信した『東北スクール in Paris』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、美術で学ぶデザインや工芸が、身近に見られるもので示されている。また、美術以外の仕事にも生かされていることが示されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の例や、自分の作品の意図について生徒同士が話し合う活動の様子が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、関連する教科と内容がマークとともに示されている。また、『空間を快適に生き生きと』で、文化祭などの飾り付けが示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言葉を使ってアイデアを構想している写真や、共同してデザインを決定していく学習過程が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、建築や作品などの伝統美術の継承や、文化を残すための事業について掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、公共の施設や学校などの身近な空間や地域にある造形物に目を向け、文化祭で学校を飾り付ける題材が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、巻頭の『図工から美術へ』や『学びの地図』において、中学校美術で学ぶ内容や小学校とのつながりが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、デジタルカメラなどを使用したコマ撮りアニメーションの制作方法や、映像メディアを活用する特設ページが掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難に応じた工夫について、中学校以上で習う漢字にルビが記載されている。また、各ページの図版には、番号が示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒作品とともに、その生徒が表している表現の主題が『作者の言葉』として紹介されている。また、実物と同じ大きさで掲載されている図版には『原寸』と示されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることにについて、身の回りの風景を造形的な視点で捉えることや、既存の建物を再利用したリノベーションが掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 生徒が自分らしい思いや考えをもつことについて、生徒作品に表現の主題を示した『作者の言葉』が示されている。また、自分の考えを伝え合っている活動が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「A表現」と「B鑑賞」の領域を関連させることについて、表現題材には作家の作品と生徒作品の両方が示され、表現と鑑賞に相互に取り組む題材が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 第1学年は17題材、第2・3学年は39題材掲載されている。また、題材は、2～6ページで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』『特別支援教育の観点から、書かれている内容が読みやすくなるように配慮しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《美術》

※詳細については、資料Ⅱ(美術-4～美術-10)を参照。

発行者の略称	光村	書名	美術2・3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能を例示した『学習を支える資料』が巻末に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『発想構想』『みんなの工夫』として、生徒が発想や構想し、表現している過程が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、美術の学習の意味や目的を取り上げた『うつくしい!』と題した文が巻頭に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「豊かな心」について、使う相手や受け取る相手などの目的に応じて制作するデザインの題材や、LGBTをテーマに描いた生徒作品『二人で生きる』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]について、自然災害の後、復興に向けて地域の人々のためにつくられた建築物『みんなの家』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、美術で学ぶデザインが身の回りにあることについて、中学生の1日の生活を例にしながらから写真とともに示されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、作品をつくったり鑑賞したりするときに発想を広げる『マップピング』などの活用方法や、付箋を活用した話し合いの方法などが掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科とのつながりがある題材には『○○科とのつながり』というコラムが設けられ、道徳科と関連のある題材にはマークと内容項目が示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、感じたことや考えたことを言葉で示したアイデアスケッチや、他者と意見交換をしながら制作している様子が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、絵巻物作品『鳥獣人物戯画』と漫画表現との共通点や違いを探る鑑賞題材が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、身近にある日用品や公共の場所の中から、使いやすくデザインされたものを探る題材が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、図画工作科の学習とつながるように、1年の導入に『美術って何だろう?』及び『美術で学ぶこと』が設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報機器の使用法やタブレット端末やプロジェクターを使用した活動例が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難に応じた工夫について、2人の生徒の表現の過程を『みんなの工夫』とし、学習活動の写真や文などで示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 表現題材の学習過程が、2人の生徒の写真やアイデアスケッチなどとともに掲載されている。また、実物と同じ大きさで掲載されている図版には『原寸大』と示されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることについて、身の回りの物事や漫画を造形的な視点で鑑賞する題材が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 生徒が自分らしい思いや考えをもつことについて、『美術鑑賞を楽しむ手がかり』として、自分が感じたことや考えたことをまとめていく流れが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「A表現」と「B鑑賞」の領域を関連させることについて、『表現中心の題材』は、題材に関連した作品鑑賞から導入され、表現と鑑賞に相互に取り組む題材が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 第1学年は17題材、第2・3学年は22題材掲載されている。また、題材は、2～8ページで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。』『小さく掲載する文字については、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《美術》

※詳細については、資料Ⅱ(美術-4～美術-10)を参照。

発行者の略称	日文	書名	美術2・3下 学びの探求と未来
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。		
	① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能を例示した『学びを支える資料』が巻末に掲載されている。		
	② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各題材に『発想や構想、鑑賞に関する目標』が示され、『作者の言葉』として、作者の思いが掲載されている。		
	③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、美術の学習の意味や目的を伝える著名人の『学びの言葉』が巻頭に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。		
	④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「豊かな心」について、使う相手や受け取る相手などの目的に応じてつくるデザインの題材や、話し合いながら共同制作をする題材が掲載されている。		
	⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]について、東日本大震災をテーマにした作品に『いつかだれかの力になる』という作者の言葉が掲載されている。		
	⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、美術以外の分野の著名人の言葉を取り上げ、『美術には心を落ち着かせる力や、感動をもたらす力がある』などと示されている。		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、アイデアスケッチをもとに発想や構想をし、共同制作をする題材が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連する題材には、マークと内容項目に対応した文が示されている。また、文化祭の看板の作品が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、感じたことや考えたことを言葉で示したアイデアスケッチが示されている。また、他者と対話をしている学習活動が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本や外国の伝統や文化を示し、美術文化の継承と創造について記述した鑑賞題材が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、地域の自然の材料や工芸技術を取り入れた列車のデザインを鑑賞する題材が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、1年の巻頭に、幼いころの造形活動や小学校の図画工作科での学習活動を示した文と写真が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、デジタルカメラやパソコンなど、情報機器を使用した写真表現や動画映像の表現方法が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難に応じた工夫について、生徒の制作途中の様子が、写真や文などで示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 造形的な視点をもって作品や活動を捉える『造形的な視点』が吹き出しで示されている。また、実物と同じ大きさで掲載されている図版には『原寸大』と示されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることについて、社会で活躍している人の言葉が『学びの言葉』や『社会に生きる美術の力』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 生徒が自分らしい思いや考えをもつことについて、表現の主題を生み出すまでのアイデアスケッチが示されている。また、『作者の言葉』で表現の主題が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「A表現」と「B鑑賞」の領域を関連させることについて、表現を中心とした題材に、関連した作家の作品が示され、表現と鑑賞に相互に取り組む題材が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	⑲ <input type="checkbox"/> 第1学年は19題材、第2・3学年上は18題材、第2・3学年下は17題材掲載されている。また、題材は、2～6ページで構成されている。		
	⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4変型判が採用されている。		
	㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名≪美術≫

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
開隆堂	「知識・技能」の習得について、各学年の巻末に『学びの資料』として、基礎的な知識や技能について掲載されている。また、題材ページには、美術に関連する言葉を説明した「美術の用語」が示されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各学年の巻末に『学習を支える資料』として、基礎的な知識や技能について掲載されている。また、『みんなの工夫』には、生徒が技能を働かせている様子が紹介されている。
日文	「知識・技能」の習得について、各学年の巻末に『学習を支える資料』として、基礎的な知識や技能について掲載されている。また、題材ページには、知識に関連する『造形的な視点』が示されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各題材に『思考力・判断力・表現力に関する目標』が示されている。また、『学習のポイント』として『視点の位置を工夫して、表したい風景に合った構図を考えよう。』などの発想・構想の方法や学習の進め方が掲載されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『発想構想』『みんなの工夫』として、活動中に生徒が発想し、構想を練る思考の過程が、アイデアスケッチなどとともに示されている。また『作家の発想・構想』が掲載され、美術家や画家の発想や構想について紹介されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各題材に『発想や構想、鑑賞に関する目標』が示されている。また、『スケッチに描く対象は、感情がワクワクしたものが全てです。』などの『作者の言葉』、学習活動の様子が分かる写真、アイデアスケッチが掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、表現や鑑賞の活動を通して学ぶ意義や、生活や社会の中の美術や美術文化とのつながりについて、内容のまとめりごとの初めのページに、『絵や彫刻で学ぶこと』『デザインや工芸で学ぶこと』が掲載されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、美術を学ぶ意義について、各学年の巻頭の『うつくしい!』と題した文で、美術の学習の意味や目的が示されている。また、一人ひとりの生徒が「美しい」と感じたものの写真が掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各巻の巻頭に、アニメーションの背景画など、日常の生活の中にある美術や美術文化が示されている。また、歌手や美術家などの著名人の言葉を使って美術の学習の意味や目的に関わることが掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
開隆堂	[思いやる力]の「豊かな心」について、小さな子どもが触れることを想定して木のおもちゃをつくる題材や、安心・安全・便利などについて発想や構想をして制作する題材では、生徒作品『ドア開閉安全マーク』や『画びょう入れ』が掲載されている。
光村	[思いやる力]の「豊かな心」について、感謝やお祝いの気持ちなどを伝えるために、使う相手や受け取る相手などの目的に応じて制作するデザインの題材や、『LGBTの人たちが生きやすい社会』を表したポスターと、『いじめ防止缶バッジ』と題した生徒作品が掲載されている。
日文	[思いやる力]の「豊かな心」について、使う相手や、受け取る相手などの目的に応じて制作するデザインの題材や、みんなで話し合いながら『学校紹介ムービー』を共同制作する題材、アール・ブリュット作品の写真が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
開隆堂	[たくましく生きる力]について、東日本大震災に見舞われた東北地方の魅力を世界に発信した『東北スクール in Paris』で行われた造形ワークショップの様子や、ロゴのデザインなどを取り上げた『美術の力を生かして社会とかかわる』が掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]について、大きな自然災害が起こった後、被災地に漁業と観光の拠点としてつくられた宮城県の『宮戸島月浜のみんなの家』や、住民が立ち寄れる熊本県の『西原村小森第2のみんなの家』などが掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]について、東日本大震災をテーマに描かれた美術作品から、自然災害の脅威や、美術にできることや美術がもつ力について示された鑑賞題材では、『いつかだれかの力になる』という作者の言葉とともに、絵画作品『あの日を忘れない』が掲載されている。

⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
開隆堂	[社会とかかわる力]の「生きること」について、美術で学ぶデザインや工芸について、身近で見られるロゴマークやはさみなどで説明されている。また、美術で学んだ力が社会の中で、落語家や保育士などの仕事に生かされていることが示されている。
光村	[社会とかかわる力]の「生きること」について、美術で学ぶデザインが身の回りについて、中学生の1日の生活を例にしながら写真とともに示されている。また、各地で行われている美術に関するイベントやプロジェクトが紹介されている。
日文	[社会とかかわる力]の「生きること」について、美術以外の分野のシンガーソングライターやノーベル賞受賞者などの著名人を取り上げ、『美術には心を落ち着かせる力や、感動をもたらす力がある』などという言葉とともに、美術の学習が社会とつながっていることが示されている。

### 3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、グループで話し合っクラスのシンボルマークのデザインを決め、Tシャツにプリントして問題解決した例や、自分の作品の意図について生徒同士が話し合う活動が掲載されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、作品をつくったり鑑賞したりするときに発想を広げる『マッピング』や『9マスの表』などの活用方法や、付箋を活用した話し合いの方法などが掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、アイデアスケッチをもとに発想や構想をし、共同で地域の広場を囲む壁に絵を描く活動が掲載されている。また、合唱曲のイメージを伝える絵を共同で描く活動が掲載されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、他教科や道徳科と関連する題材には、マークと共にその内容が示されている。また、表現題材『空間を快適に生き生きと』では、校舎内や文化祭での教室などを飾り付けている写真が掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、国語科・数学科・家庭科・理科とのつながりがある題材には『〇〇科とのつながり』というコラムが設けられている。また、道徳科と関連のある題材にはマークとともに内容項目が示されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連する題材には、マークとその内容項目に対応した文が示されている。また、『紙で美しい装飾をつくる』題材では、文化祭の看板の作品が示されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
開隆堂	言語能力の育成について、『ポスターの制作』では、『課題を理解し、テーマに関する情報を収集』し、関連する言葉を書き出して『アイデアを構想』している過程が示されている。また、グループで構想している活動が掲載されている。
光村	言語能力の育成について、発想や構想の過程で表したいことについて言葉を書き出したアイデアスケッチが掲載されている。また、他者と意見交換をしながら制作している様子が示されている。
日文	言語能力の育成について、発想や構想の過程で感じたことや考えたことを言葉で示したアイデアスケッチが示されている。また、グループで話し合いながら表現や鑑賞の活動をしている様子が掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の国宝に指定されているものについては『国宝』と示されている。また、『名古屋城本丸御殿復元プロジェクト』として、伝統技術の未来への継承や、文化を未来に残すための市民の森づくり事業について掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の国宝に指定されているものについては『国宝』と示されている。また、絵巻物作品『鳥獣人物戯画』や『伴大納言絵巻』などと、『ちびまる子ちゃん』などの漫画表現との共通点や違いを探る鑑賞題材が掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の国宝に指定されているものについては『国宝』と示されている。また、『どこまで修復すべきか』では、日本や外国の伝統や文化から、美術文化の継承と創造について記述した鑑賞題材が掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
開隆堂	体験活動の充実について、美術館での鑑賞活動だけではなく、絵本や地図など、身近にあるものや地域にある造形物が紹介されている。また、日本各地の『明かりの行事』である『秋田竿灯まつり』などが掲載されている。
光村	体験活動の充実について、美術館での鑑賞活動だけではなく、身の回りにある椅子に実際に座ってみたり、複数の角度から見てみたり、運んでみたりする活動や、公共の場にある椅子の形や色、材料に目を向ける活動が紹介されている。
日文	体験活動の充実について、美術館の作品を鑑賞する活動だけではなく、地域の自然の材料や工芸技術を取り入れた列車のデザインを鑑賞する題材が掲載されている。また、自分たちの地域にあるものや漫画、パブリックアートを鑑賞する題材が掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、1年の巻頭の『図工から美術へ』及び『学びの地図』において、中学校美術で学ぶ内容が、小学校とのつながりとして掲載されている。2・3年の巻末には、『未来に向かって』と題し、美術科で培われた力が生活につながっていくことが示されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、図画工作科の学習とつながるように、1年の導入に『美術って何だろう?』及び『美術で学ぶこと』が設定されている。2・3年の巻末には『美術の力』として、美術の学びを振り返り、将来につながることに示されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、1年の巻頭には、幼いころの造形活動や小学校の図画工作科の学習活動を示した文と写真が掲載されている。また、2・3年下の巻末には、中学校美術の学びが将来につながることを伝える文が掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
開隆堂	情報活用能力の育成について、デジタルカメラなどを使用したコマ撮りアニメーションの制作方法が示されている。また、映像メディアを活用する特設ページが設定され、表現の可能性が広げられる撮影機器と、その扱い方や活用例が掲載されている。
光村	情報活用能力の育成について、情報機器の使用法やタブレット端末やプロジェクターを使用した活動例や、映像制作の流れなどが示されている。また、映像を使って空間の演出をしている事例が掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、デジタルカメラやパソコンなど、情報機器を使用した写真表現や動画映像の表現方法が示されている。また、ヴァーチャル・リアリティの鑑賞事例が掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
開隆堂	生徒の学習上の困難に応じた工夫について、中学校以上で習う漢字にルビが記載されている。また、各ページの図版には、番号が示されている。安全に関する注意点については、注意を促すマークが記載されている。
光村	生徒の学習上の困難に応じた工夫について、『みんなの工夫』では、2人の生徒が表現している過程が、発想や構想の段階から完成作品までの順序が、活動の様子やアイデアスケッチなどの写真や文で示されている。
日文	生徒の学習上の困難に応じた工夫について、題材ページには、完成した作品だけではなく、『試しながら、発想を広げよう』『話して、つなげて、深めよう』などと題し、生徒の制作途中の様子が、写真や文などで示されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	生徒作品とともに、その生徒が表している表現の主題が『作者の言葉』として『家族がくれた大事なポーチです。布の柔らかい感じを表しました。』などと示されている。また、題材に関連する専門的な用語が『美術の用語』として掲載されている。
光村	表現題材の学習過程が、2人の生徒が表現の主題をどのようにもち、それを表すためにどのように試行錯誤したのか、写真やアイデアスケッチ、『水たまりに映った青空が美しく見えたので、明るい色で強調して描く。』などの言葉とともに紹介されている。
日文	造形的な視点で物事を捉えるための『造形的な視点』が、『つやつやした感じやかたさなどは、どこから感じるのだろうか。』『視点を換えることにより、どのように印象が変わるだろうか。』などの吹き出しの言葉で示されている。
⑯ 生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	身の回りの物事を造形的な視点で捉えるよう、同じ場所の季節が異なる風景写真を使って色彩について説明されている。また、既存の建物の特徴を利用して新しく生まれた美術館やカフェなどのリノベーションされた建物が鑑賞題材として設定されている。
光村	案内用記号や四季の和菓子など、身の回りの生活の中にデザインが活用されていることを鑑賞する題材や、絵巻物と漫画を比較し、現代の漫画には絵巻物に共通する表現が使われていることなどを示した題材が設定されている。
日文	美術の学びについて、巻頭に著名人の『学びの言葉』が掲載されている。また、『社会に生きる美術の力』では、『美術には心を落ち着かせる力や、感動をもたらす力があることを。』という、ノーベル生理学・医学賞受賞者の言葉が示されている。
⑰ 生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	作品に表現の主題が『作者の言葉』として示されている。また、表現の主題をグループで話し合いながら決めている過程や、自分で制作した自己紹介カードのデザインの意図について伝え合っている様子の写真が掲載されている。
光村	2人の生徒が発想や構想をし、表現していく過程が、制作途中の写真と言葉と共に紹介されている。また、『美術鑑賞を楽しむ手がかり』には、美術作品を鑑賞する際、『自分なりに考える』などの流れが、キャラクターの言葉と共に示されている。
日文	作品に表現の主題が『作者の言葉』として示されている。また、巻頭の『この教科書で学ぶみなさんへ』に、『感性や想像力を働かせ自分なりの見方や感じ方をつくり出そう。』『自分が強く表したい主題(テーマ)を生み出そう。』と掲載されている。
⑱ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	身近な風景から感じ取ったよさをもとに表したいことを絵に表す題材『心ひかれる風景』では、生徒作品とともに、日本画家・片岡球子の作品『山 富士山』が紹介され、表現と鑑賞に相互に取り組む題材が掲載されている。
光村	『表現中心の題材』は、題材に関連した作家や生徒の作品を鑑賞する活動が初めに示されている。また、表現した後の生徒作品が『ぼくは旅をすると必ずその土地のY字路を捜す。』などの『作者の言葉』とともに掲載されている。
日文	表現を中心とした題材に、生徒作品だけでなく関連した作家の作品や制作途中の写真が掲載されている。また、『造形的な視点』として、『指している図版に対して、全体の感じからの印象や気づいて欲しいこと』が示されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
開隆堂	第1学年は『表現中心の題材』が12題材、『鑑賞中心の題材』が5題材。第2・3学年は『表現中心の題材』が21題材、『鑑賞中心の題材』が18題材。それぞれの題材は、2～6ページで構成されている。
光村	第1学年は『表現中心の題材』が12題材、『鑑賞中心の題材』が5題材。第2・3学年は『表現中心の題材』が16題材、『鑑賞中心の題材』が6題材。それぞれの題材は、2～8ページで構成されている。
日文	第1学年は『表現や鑑賞する活動の題材』が14題材、『鑑賞する活動を主にした題材』が5題材。第2・3学年上は『表現や鑑賞する活動の題材』が12題材、『鑑賞する活動を主にした題材』が6題材。第2・3学年下は『表現や鑑賞する活動の題材』が12題材、『鑑賞する活動を主にした題材』が5題材。それぞれの題材は、2～6ページで構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	判型はA4変型判が採用されている。3ページ扱いの片観音開きや、4ページ扱いの両観音開きになる箇所において、伊藤若冲などの作品が掲載されている。
光村	判型はA4判が採用されている。3ページ扱いの片観音開きや、4ページ扱いの両観音開きになる箇所において、俵屋宗達などの作品が掲載されている。
日文	判型はA4変型判が採用されている。3ページ扱いの片観音開きや、4ページ扱いの両観音開きになる箇所において、尾形光琳などの作品が掲載されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』『特別支援教育の観点から、書かれている内容が読みやすくなるように配慮しています。』と表記されている。
光村	『カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。』『小さく掲載する文字については、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。
日文	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。



【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載

開隆堂	<p>1年 61ページ 「造形さがみ風っ子展」(相模原市)</p> <p>1年 66ページ ジョコ・アヴィアント「善と悪の境界はひどく縮れている」(横浜美術館「ヨコハマトリエンナーレ2017」展示風景)</p> <p>2・3年 15ページ 松本竣介「立てる像」、「立てる像」下絵(神奈川県立近代美術館蔵)</p> <p>2・3年 29ページ ジュリアーノ・ヴァンジ「偉大な物語」(箱根彫刻の森美術館蔵)</p> <p>2・3年 31ページ 堀内正和「円筒を斜めに通りぬけるもうひとつの円筒」[紙]、「円筒を斜めに通りぬけるもうひとつの円筒A」[紙]、「円筒を斜めに通りぬけるもうひとつの円筒」[御影石、ブロンズ](神奈川県立近代美術館蔵)</p> <p>2・3年 48ページ 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」</p> <p>2・3年 51ページ クロード・ドビュッシーの交響曲「海」初版表紙(「神奈川沖浪裏」に影響されたことが記載されている)</p> <p>2・3年 53ページ 岡本太郎「縄文人」(川崎市岡本太郎美術館蔵)</p> <p>2・3年 61ページ クロード・モネ「ルーアン大聖堂」(ポーラ美術館蔵)</p> <p>2・3年 71ページ 垣内貞夫「道路景観マップ『町田の景観』」(神奈川県を流れる境川をイラストで示した地図)</p> <p>2・3年 80ページ 益田大祐「波 akari」(「神奈川沖浪裏」をモチーフにしてつくられたことが記載されている)</p> <p>2・3年 114ページ 生徒作品「愛川町の四季」</p>
光村	<p>1年 7ページ 奈良美智「春少女」(横浜美術館蔵)</p> <p>1年 13ページ 山口蓬春「つつじ」(山口蓬春記念館蔵)</p> <p>1年 43ページ エッシャー「昼と夜」(横浜美術館蔵)</p> <p>1年 52ページ 濱田庄司(神奈川県出身)「柿柚蠟抜漆文笥」</p> <p>1年 67ページ 「モネ それからの100年」展 ちらし(横浜美術館)</p> <p>1年 69ページ 鈴野浩一(神奈川県出身)「空気の器」</p> <p>1年 72ページ 鎌倉彫の箱</p> <p>1年 76ページ 藤原大(神奈川県出身)「カラーハンティング」の手法</p> <p>1年 79ページ 作品鑑賞の様子(横浜美術館)</p> <p>2・3年 25～26ページ 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」</p> <p>2・3年 33ページ 岡本太郎(神奈川県出身)「哄笑」(川崎市岡本太郎美術館蔵)</p> <p>2・3年 45ページ 松本竣介「立てる像」(神奈川県立近代美術館蔵)</p> <p>2・3年 54ページ パブロ・ピカソ「海辺の母子像」(ポーラ美術館蔵)</p> <p>2・3年 57ページ 高橋重樹(神奈川県出身)・神谷準一・山崎和也(神奈川県出身)「MOTTAINAI傘プロジェクト」</p> <p>2・3年 65ページ 「流水杜若模様打掛」(女子美術大学美術館蔵)</p> <p>2・3年 73ページ 生徒作品「茅ヶ崎丸ごとCクラッカー」「さざんびーち」</p> <p>2・3年 84ページ こいのぼりなう! 須藤玲子×アドリアン・ガルデル×齋藤精一(神奈川県出身)によるインスタレーション</p> <p>2・3年 95ページ 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」</p> <p>2・3年 96ページ 奈良美智「春少女」(横浜美術館蔵)</p> <p>2・3年 97ページ 鎌倉彫</p> <p>2・3年 102ページ 「横浜トリエンナーレ」の記載、造形「さがみ風っ子展」(相模原市)</p> <p>2・3年 103ページ エル・アナツイ「大地の皮膚」(2008年 神奈川県立近代美術館での展示)</p>
日文	<p>1年 44ページ 横浜市き章</p> <p>1年 46ページ 三谷基(神奈川県)「花玉」「折花」</p> <p>1年 62ページ 東山魁夷(神奈川県)「黄山雨過」(長野県信濃美術館東山魁夷館蔵)</p> <p>1年 74ページ 「中高生向けのプログラム」(横浜美術館)</p> <p>2・3年上 表紙 東山魁夷(神奈川県)「緑響く」(長野県信濃美術館東山魁夷館蔵)</p> <p>2・3年上 5ページ 岡本太郎(神奈川県)</p> <p>2・3年上 17ページ 岡本太郎(神奈川県)「跳ぶ」(川崎市岡本太郎美術館蔵)</p> <p>2・3年上 23ページ 蔡國強「壁撞き」(2006年 横浜美術館での展示)</p> <p>2・3年上 24・29・54ページ 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」</p> <p>2・3年上 31ページ アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」(川崎市市民ミュージアム蔵)</p> <p>2・3年上 31ページ クロード・モネ「睡蓮の池」(ポーラ美術館蔵)</p> <p>2・3年上 50～51ページ 岡本太郎(神奈川県)「生命の樹」「太陽の塔」「明日の神話」「飛行船に絵を描く」「午後の日」「ノン」「歓喜」「こどもの樹」「夢の鳥」</p> <p>2・3年上 53ページ 奈良美智「ワールド・イズ・ユアーズ(部分)」(ウイング上大岡)</p> <p>2・3年上 54ページ 葛飾北斎が「神奈川沖浪裏」を完成させるまでに「大波」を描いた3作品「賀奈川沖本壺之図」「おしをくりはとうつうせんのづ」「船頭孫助洋中になゞよひて幽霊船を見る」、「手でみる絵／神奈川沖浪裏」</p> <p>2・3年下 9ページ 東山魁夷(神奈川県)「自画像」(長野県信濃美術館東山魁夷館蔵)</p> <p>2・3年下 14～15ページ 「等々力緑地壁画のアイデアスケッチ」と生徒作品「四季の風(黒猫の散歩)」</p> <p>2・3年下 18ページ ヘンリー・ムーア「横たわる像：アーチ状の足」(彫刻の森美術館蔵)</p> <p>2・3年下 20ページ 曾屋朝絵(神奈川県)「Bathub」(第一生命ギャラリー蔵)</p> <p>2・3年下 38ページ 寒河江亘太(神奈川県)「ペットボトルのパッケージ」</p> <p>2・3年下 39ページ 生徒作品「茅ヶ崎ばーむ」</p> <p>2・3年下 50～51ページ ジョコ・アヴィアント「善と悪の境界はひどく縮れている」(2017ヨコハマトリエンナーレ)</p> <p>2・3年下 50ページ 「造形さがみ風っ子展」(相模原市)</p> <p>2・3年下 53ページ 鎌倉彫</p>

② URL、二次元コード等の掲載の有無

発行者名	1年	2・3年	2・3年上	2・3年下		
開隆堂	有	有				
光村	有	有				
日文	有		有	有		

③ 一冊ごとの重量(g)

発行者名	冊数	1年	2・3年	2・3年上	2・3年下	
開隆堂	2	271	463			
光村	2	310	388			
日文	3	333		292	271	